

椋山女学園大学改革アクションプラン 2023 成果報告

椋山女学園大学では、本学の個性や特色を生かし、学生等の多様なニーズに質の高い教育で応えていくため、毎年「椋山女学園大学改革アクションプラン」を策定し、教育改革に取り組んでいます。

2023年度は「椋山女学園大学中長期計画2020年4月～2030年3月」第Ⅱ期（2023年度～2026年度）の初年度として、新たに見直しを行った実施計画のもと、学びの継続及びさらなる教育改革を推進いたしました。2023年度の主な取組の成果を以下に報告いたします。

1 教育内容の充実

トータルライフデザイン教育の更なる充実を目的として、教養教育科目のカリキュラム改正を行い、2024年度から「領域7 トータルライフデザイン」として、いくつかの新しい科目を開講するための準備を進めました。

教育の内部質保証の推進として、2024年度から学修成果可視化システム（Sugi-PORT）を導入するため、学内説明会の実施や、導入後の活用方法の検討など、準備を行いました。

2 学修支援

学生自身が大学生活や自らの学びを客観的に振り返ることができるポートフォリオシステムとして、2024年度から学修成果可視化システム（Sugi-PORT）を導入するため、在学生や新入生に向けた案内の準備を行いました。

BYOD、電子教科書を導入した看護学部では、Wi-Fi 環境の整備を実施しました。

3 学生生活

全学障害学生支援委員会規準を制定し、全学的な支援体制の整備を行いました。

2023年4月に国際交流センター事務室を設置し、全学的な国際交流支援の体制を強化するとともに、複数の大学と新たな国際交流プログラムを締結しました。

4 キャリア支援

卒業生及び就職先企業へのアンケートを実施し、Web サイトで公開しました。

5 学生確保

すべての学部学科のアドミッション・ポリシー（入学者の受け入れ方針）を、<知識・技能><思考力・判断力・表現力><主体性・協調性>の3つの区分に分けて策定し、公表しました。

高大コミュニケーションプラットフォームやイブニング入試相談会など、新たな情報発信やイベントを実施しました。

6 社会連携

2024年4月に、女性が社会で自立して生きていくための知識・能力を修得し、女性の自立と人生のデザインを支援するための組織として、椋山女学園大学トータルライフデザインセンターを設置するため、開設の準備を行いました。

7 マネジメント

全学的な教学マネジメント体制は、大学運営会議を中心として、学部ごとには教育内容検討会議にて、環境の変化に対応し、機動的な意思決定を行っています。

以上